様式第１３号（第７条関係）

（第１面）

建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書

年　　月　　日

　建築主事等　　　様

申請者氏名

申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画について、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律施行規則第５条に該当する軽微な変更がありましたので、変更の内容を報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| （１）建築物等の名称 | 　 |
| （２）建築物等の所在地 | 　横手市 |
| （３）省エネ適合判定年月日・番号 | 　 |
| （４）変更の内容　 |
| □Ａ　省エネ性能等を向上させるまたは当該性能に影響を及ぼさない変更□Ｂ　一定範囲内でエネルギー消費性能を低下させる変更□Ｃ　再計算によって基準適合が明らかな変更（建築物の用途や計算方法の変更を除く）　 |
| （５）備　考　 |
|  |
| （注意）１　この説明書は、完了検査申請の際に、申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画に軽微な変更があった場合に、完了検査申請書の第３面の別紙として添付してください。２　（４）変更の内容について、Ａにチェックした場合は第２面に、Ｂにチェックした場合は第３面に必要事項を記入した上で、変更内容を説明するための図書を添付してください。Ｃにチェックした場合には軽微変更該当証明書及びその申請に要した図書を添付してください。３　第２面・第３面は住宅と非住宅の２種類ありますので、用途を確認し作成してください。 | 受付欄 |
|  |

（住宅）

（第２面）

【Ａ　省エネ性能等を向上させるまたは当該性能に影響を及ぼさない変更】

|  |
| --- |
| ・変更内容は、□チェックに該当する事項となる |
| 次の①から④に該当する変更* ① 外皮の各部位の熱貫流率もしくは線熱貫流率又は日射熱取得率が増加しない変更（外皮面積が変わらない場合に限る）、又は開口部面積が増加しない変更
* ② 通風等の利用によりエネルギー消費性能が低下しない変更
* ③ 空気調和設備等の効率が低下しない又は損失が増加しない変更（制御方法等の変更を含む）
* ④ エネルギーの効率的利用を図る設備の新設又は増設
 |
| ・上記□チェックについて具体的な変更の記載欄 |
|  |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）変更内容は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした事項については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |

（住宅）

（第３面）

【Ｂ　一定範囲内でエネルギー消費性能を低下させる変更】

変更前のＢＥＩ＝（　　　　　）≦　０.９

|  |
| --- |
| ・変更内容は、①または②に該当する変更となる（①と②の同時変更は対象外） |
| * ① 床面積
 |
| 　主たる居室、その他の居室又は非居室の床面積について、それぞれ１０％を超えない増減 |
| * ② 外皮（外皮面積の合計に変更がない場合）

・変更前のＵＡ値＝（　　）≦（　　）×0.9・変更前のηＡＣ値＝（　　）≦（　　）×0.9以下のいずれか（同時に２以上の変更がある場合は対象外）に該当し、これ以外の事項についてエネルギー消費性能が低下しない変更 |
| 　　□ 開口部の面積増加分が外皮面積の合計の1/200を超えない変更　　□ 変更する開口部面積が外皮面積の合計の1/200を超えない場合の開口部の断熱性能、日射遮蔽性能もしくはその両方が低下する変更又は日射遮蔽部材をなくす変更　　□ 変更する外皮の面積の合計が外皮面積の合計の1/100を超えない場合の開口部以外の外皮の断熱性能が低下する変更　　□ 基礎断熱の基礎形状等の変更 |
| ・上記□チェックについて具体的な変更の記載欄 |
|  |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）変更内容は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした事項については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |

（非住宅）

（第２面）

【Ａ　省エネ性能等を向上させるまたは当該性能に影響を及ぼさない変更】

|  |
| --- |
| ・変更内容は、□チェックに該当する事項となる |
| * ① 建築物の高さ又は外周長の減少
* ② 外壁、屋根又は外気に接する床の面積の減少
* ③ 空気調和設備等の効率が低下しない又は損失が増加しない変更（制御方法等の変更を含む）
* ④ エネルギーの効率的利用を図る設備の新設又は増設
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
 |
| ・上記□チェックについて具体的な変更の記載欄 |
|  |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）変更内容は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした事項については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |

（非住宅）

（第３面）

【Ｂ　一定範囲内でエネルギー消費性能を低下させる変更】

|  |
| --- |
| ・変更前のＢＥＩ＝（　　　　　）≦（　　　　　）×0.9 |
| ・変更となる設備の概要 |
| * 空気調和設備

変更内容記入欄 |
| * 機械換気設備

変更内容記入欄 |
| * 照明設備

変更内容記入欄 |
| * 給湯設備

変更内容記入欄 |
| * 太陽光発電設備

変更内容記入欄 |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）変更となる設備は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした設備については、変更内容記入欄に概要を、第３面別紙に必要事項を記入した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |

（非住宅）

（第３面　別紙）

[空気調和設備関係]

|  |
| --- |
| 　次に掲げる（イ）、（ロ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （イ）外壁、屋根、外気に接する床もしくは窓の平均熱貫流率もしくは窓の平均日射熱取得率について５％を超えない増加 |
| 外壁・屋根・外気に接する床・窓の平均熱貫流率について５％を超えない増加 |
| 部位（　　　　　）変更内容　　　　　　　□断熱材種類　　　□断熱材厚み変更する方位　　　　　□全方位　　　　　□一部方位のみ（方位　　　　　）変更前・変更後の平均熱貫流率変更前（　　　　　　　）　変更後（　　　　　　　　）　増加率（　　　　　　）％ |
| 部位（　　　　　）変更内容　　　　　　　□断熱材種類　　　□断熱材厚み変更する方位　　　　　□全方位　　　　　□一部方位のみ（方位　　　　　）変更前・変更後の平均熱貫流率変更前（　　　　　　　）　変更後（　　　　　　　　）　増加率（　　　　　　）％ |
| 窓の平均日射熱取得率について５％を超えない増加 |
| 変更内容　　　　　　　□ガラス種類　　　□ブラインドの有無変更する方位　　　　　□全方位　　　　　□一部方位のみ（方位　　　　　）変更前・変更後の平均日射熱取得率変更前（　　　　　　　）　変更後（　　　　　　　　）　増加率（　　　　　　）％ |
| （ロ） 熱源機器の平均効率について１０％を超えない低下 |
| 平均熱源効率（冷房平均ＣＯＰ） |
| 変更内容　　　　　　　□機器の仕様変更　　　□台数の増減変更前・変更後の平均熱源効率変更前（　　　　　　）　変更後（　　　　　　　）　減少率（　　　　　　　）％ |
| 平均熱源効率（暖房平均ＣＯＰ） |
| 変更内容　　　　　　　□機器の仕様変更　　　□台数の増減変更前・変更後の平均熱源効率変更前（　　　　　　）　変更後（　　　　　　　）　減少率（　　　　　　　）％ |

（非住宅）

（第３面　別紙）

 [機械換気設備関係]

|  |
| --- |
| 評価の対象になる室の用途毎につき、次に掲げる（イ）、（ロ）のいずれかに該当し、これ以外については、「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。  |
| （イ） 送風機の電動機出力について１０％を超えない増加  |
| 室用途（ 　　 ）変更内容 　　　　□機器の仕様変更 　　 □台数の増減 変更前・変更後の送風機の電動機出力 変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　　　）　増加率（　　　　　　　）％ |
| 室用途（ 　　 ）変更内容 　　　　□機器の仕様変更 　　 □台数の増減 変更前・変更後の送風機の電動機出力 変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　　　）　増加率（　　　　　　　）％ |
| （ロ） 計算対象床面積について５％を超えない増加（室用途が「駐車場」「厨房」である場合のみ）  |
| 室用途（ 駐車場 ） 変更前・変更後の床面積 変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　　　）　増加率（　　　　　　　）％ |
| 室用途（ 厨　房 ） 変更前・変更後の床面積 変更前（　　　　　）　変更後（　　　　　　　）　増加率（　　　　　　　）％ |

（非住宅）

（第３面　別紙）

 [照明設備関係]

|  |
| --- |
| 評価の対象になる室の用途毎につき、次に掲げる（イ）に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。  |
| （イ） 単位床面積あたりの照明器具の消費電力について１０％を超えない増加  |
| 室用途（ 　　 ）変更内容 　　　　□機器の仕様変更 　　 □台数の増減 変更前・変更後の単位床面積あたりの消費電力 変更前（　　 　　）　変更後（　　 　　　）　増加率（　　 　　　　）％ |
| 室用途（ 　　 ）変更内容 　　　　□機器の仕様変更 　　 □台数の増減 変更前・変更後の単位床面積あたりの消費電力変更前（　　 　　）　変更後（　　 　　　）　増加率（　　 　　　　）％ |
| 室用途（ 　　 ）変更内容 　　　　□機器の仕様変更 　　 □台数の増減 変更前・変更後の単位床面積あたりの消費電力変更前（　　 　　）　変更後（　　 　　　）　増加率（　　 　　　　）％ |
| 室用途（ 　　 ）変更内容 　　　　□機器の仕様変更 　　 □台数の増減 変更前・変更後の単位床面積あたりの消費電力変更前（　　 　　）　変更後（　　 　　　）　増加率（　　 　　　　）％ |

（非住宅）

（第３面　別紙）

 [給湯設備関係]

|  |
| --- |
| 評価の対象になる湯の使用用途毎につき、次に掲げる（イ）に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。  |
| （イ） 給湯機器の平均効率について１０％を超えない低下  |
| 湯の使用用途（　　 ）変更内容 　　　　□機器の仕様変更 　　 □台数の増減 変更前・変更後の平均効率変更前（　　 　　）　変更後（　　 　　　）　減少率（　　 　　　　）％ |
| 湯の使用用途（　　 ）変更内容 　　　　□機器の仕様変更 　　 □台数の増減 変更前・変更後の平均効率変更前（　　 　　）　変更後（　　 　　　）　減少率（　　 　　　　）％ |
| 湯の使用用途（　　 ）変更内容 　　　　□機器の仕様変更 　　 □台数の増減 変更前・変更後の平均効率変更前（　　 　　）　変更後（　　 　　　）　減少率（　　 　　　　）％ |

（非住宅）

（第３面　別紙）

 [太陽光発電設備関係]

|  |
| --- |
| 次に掲げる（イ）、（ロ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。  |
| （イ） 太陽電池アレイのシステム容量について２％を超えない減少  |
| 変更前・変更後の太陽電池アレイのシステム容量変更前 システム容量の合計値（ 　　　　 ）変更後 システム容量の合計値（ 　　　　 ）変更前・変更後のシステム容量減少率（ 　　　　 ）％  |
| （ロ） パネル方位角について３０度を超えない変更又は傾斜角について１０度を超えない変更  |
| パネル番号（ 　　 ）パネル方位角 □３０度を超えない変更 （ 　　 ）度変更パネル傾斜角 □１０度を超えない変更 （ 　　）度変更  |
| パネル番号（ 　　 ）パネル方位角 □３０度を超えない変更 （ 　　 ）度変更パネル傾斜角 □１０度を超えない変更 （ 　　）度変更  |